

## 正誤表とお詫び

神戸学院大学心理学研究第2巻1号掲載の藤岡瑛、村山恭朗著「大学生のレジリエンスと両親の養育態度の関連」の論文につきまして、HP上の掲載内容と異なる部分がありました。お詫びいたします。訂正させていただきます。

該当箇所	誤	正
32 ページ 左上から 18 行目	中高生を対象とした調査では、後天的な個人の発達によってレジリエンスを高められることが報告されている（平野，2011）	大学生を対象とした調査では、後天的な個人の発達によってレジリエンスを高められることが報告されている（平野，2012）
32 ページ 左下から 19 行目	大学生を対象とした他の先行研究（野津，2014）では，	大学生を対象とした他の先行研究（野津，2015）では，
33 ページ 右上から 13 行目	他の変数との間には，有意な関連は認められなかった（年齢： $\beta = .022$ ，父親の受容： $\beta = -.227$ ，父親のモニタリング： $\beta = .081$ ，母親の心理的統制： $\beta = -.012$ ，父親の心理的統制： $\beta = -.059$ ，いずれも n.s.）。資質的レジリエンスについても同様に分析を行ったところ，いずれの変数も有意な関連を示さなかった（性別： $\beta = -.095$ ，年齢： $.172$ ，母親の受容： $\beta = -.017$ ，父親の受容： $\beta = .073$ ，母親のモニタリング： $\beta = .211$ ，父親のモニタリング： $\beta = .246$ ，母親の心理的統制： $\beta = -.017$ ，父親の心理的統制： $\beta = .017$ ，いずれも n.s.：表3）。	他の変数との間には，有意な関連は認められなかった（年齢： $\beta = .029$ ，父親の受容： $\beta = -.227$ ，父親のモニタリング： $\beta = .081$ ，母親の心理的統制： $\beta = .035$ ，父親の心理的統制： $\beta = -.059$ ，いずれも n.s.）。資質的レジリエンスについても同様に分析を行ったところ，いずれの変数も有意な関連を示さなかった（性別： $\beta = -.088$ ，年齢： $\beta = .172$ ，母親の受容： $\beta = -.085$ ，父親の受容： $\beta = .073$ ，母親のモニタリング： $\beta = .211$ ，父親のモニタリング： $\beta = .246$ ，母親の心理的統制： $\beta = -.017$ ，父親の心理的統制： $\beta = .017$ ，いずれも n.s.：表3）。
34 ページ 右上から 7 行目	他の研究（野津，2014）においても，	他の研究（野津，2015）においても，
34 ページ 右上から 18 行目	しかし，重回帰分析を用いた先行研究（野津，2014）は，	しかし，重回帰分析を用いた先行研究（野津，2015）は，
34 ページ 右下から 4 行目	異なり，先行研究（野津，2014）において，	異なり，先行研究（野津，2015）において，
35 ページ 左上から 16 行目	本研究では，先行研究（野津，2014）とは異なり，	本研究では，先行研究（野津，2015）とは異なり，
35 ページ 右下から 14 行目		平野 真理（2012）. 二次元レジリエンス要因の安定性およびライフイベントとの関係 パーソナリティ研究, 21, 94-97.
35 ページ 右下から 11 行目	本保 恭子・八重樫 樫牧子（2003）. 母親の子育て不安と父親の家事・子育て参加との関連性に関する研究. 川崎医療福祉学会誌, 13, 1-13.	本保 恭子・八重樫 牧子（2003）. 母親の子育て不安と父親の家事・子育て参加との関連性に関する研究. 川崎医療福祉学会誌, 13, 1-13.
36 ページ 右上から 3 行目	厚生労働省（2012）. 労働者健康労働状況調査 Retrieved from <a href="https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/h24-46-50_01.pdf">https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/h24-46-50_01.pdf</a> （2018年5月10日）	厚生労働省（2012）. 労働者健康状況調査 Retrieved from <a href="https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/h24-46-50_01.pdf">https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/h24-46-50_01.pdf</a> （2018年5月10日）

<p>36 ページ 左上から 12 行目</p>	<p>野津 友美枝 (2014). 父親・母親の養育態度が青年期のレジリエンスに及ぼす関連 京都学園大学人間文化学部 人間文化学部学生論文集, 13, 27-36.</p>	<p>野津 友美枝 (2015). 父親・母親の養育態度が青年期のレジリエンスに及ぼす<u>効果</u> 人間文化学部学生論文集, 13, 27-36.</p>
<p>36 ページ 右上から 5 行目</p>	<p>小塩 真司・中谷 素之・金子 一史・長峰 伸治 (2002). ネガティブな出来事からの立ち直りを導く心理的特性－精神的回復尺度の作成－カウンセリング研究, 35, 57-65.</p>	<p>小塩 真司・中谷 素之・金子 一史・長峰 伸治 (2002). ネガティブな出来事からの立ち直りを導く心理的特性－精神的回復<u>力</u>尺度の作成－カウンセリング研究, 35, 57-65.</p>